

## 教科目名 プログラミング応用 I (Programming Application I)

学科名・学年 : 制御情報工学科 3 年

単位数など : 必修 2 単位 (前期 2 コマ, 授業時間 42.75 時間)

担当教員 : 青木照子

授業の概要			
コンピュータの内部の動きをマイコン H8 の学習で理解する。マイコンの構成、動作、処理性能などを理解し、アセンブラ言語を通して、コンピュータの中の動きを学ぶ。講義と H8 マイコン実験装置を利用した演習と平行させながら講義を進め、理解を深める。最終課題では液晶表示器に自分の名前を表示する。4 年次の工学実験 V に継続する。			
達成目標と評価方法			大分高専目標 (B2)
(1) マイコン制御の基礎を理解する。(定期試験)			
(2) アセンブラプログラムを理解し、プログラムの作成方法を学ぶ。(定期試験と課題)			
(3) H8 マシンをアセンブラプログラムで動作させ、マイコン内部の動きを、実機で理解する。(定期試験と課題)			
(4) 液晶表示器に自分の名前を表示し、H8 による周辺機器の制御について理解する。(課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	(1) マイコン制御の基礎	○マイコンの構成や動作を理解する。	【理解の度合い】
	(2) H8 マイコン実験装置	○回路図を用いて演習に用いる実験装置を理解する。	
2	(3) マイコンでのデータ表現	○H8 マイコン基本構成や基本要素を理解する。	
3	(4) H8 マイコンの操作	○H8 マイコンをデモプログラムで動作させる。	
4	(5) アーキテクチャ&メモリ	○CPU の構成、アドレッシング、割込みなどを理解する。	
6	(6) H8 プログラムの動作	○H8 アセンブラ命令を理解する	
7	(7) CPU		
8	(8) H8 アセンブラ命令セット		
8	前期中間試験		【試験の点数】 点 【理解の度合い】
9	(9) ポート&周辺機能	○ポートや周辺機能について理解する。	【理解の度合い】
10	(10) 中間試験の解答と解説 アセンブラ言語の基礎	○アセンブラ言語の書き方などを理解する。 ○LED 制御のプログラムを作成する。	
11	(11) アセンブラプログラムの応用 (1)	○スイッチ制御のプログラムを作成する。	
12	(12) アセンブラプログラムの応用 (2)		
13	(13) アセンブラプログラムの応用 (3)	○LCD に文字を表示するプログラムを作成する。	
14			
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義や演習中にわからなくなったら、いつでも質問するように。</li> <li>・授業中の課題に重点を置く。</li> <li>・4 年次の工学実験 V で応用するので、しっかり理解する。</li> </ul>		【総合達成度】
教科書	堀桂太郎共著, H8 マイコン入門, 東京電機大学出版局		
参考図書	H8 マイコンに関する参考図書は図書館や書店にたくさんあるので、自分にあった図書を探す。		
自学上の注意	プログラミングは、自分でやることで身につく。課題のプログラミングは必ず予習すること。		
関連科目	プログラミング基礎 II, プログラミング応用 II		
総合評価	達成目標の (1)~(4) について 2 回の定期試験と課題で評価する。 総合評価 = $0.5 \times (\text{2 回の定期試験の平均}) + 0.5 \times (\text{課題点})$ 総合評価が 60 点以上を合格とする。再試験受験対象者は課題を全て提出し、評価が 40 点以上のものとする。		【総合評価】 点